



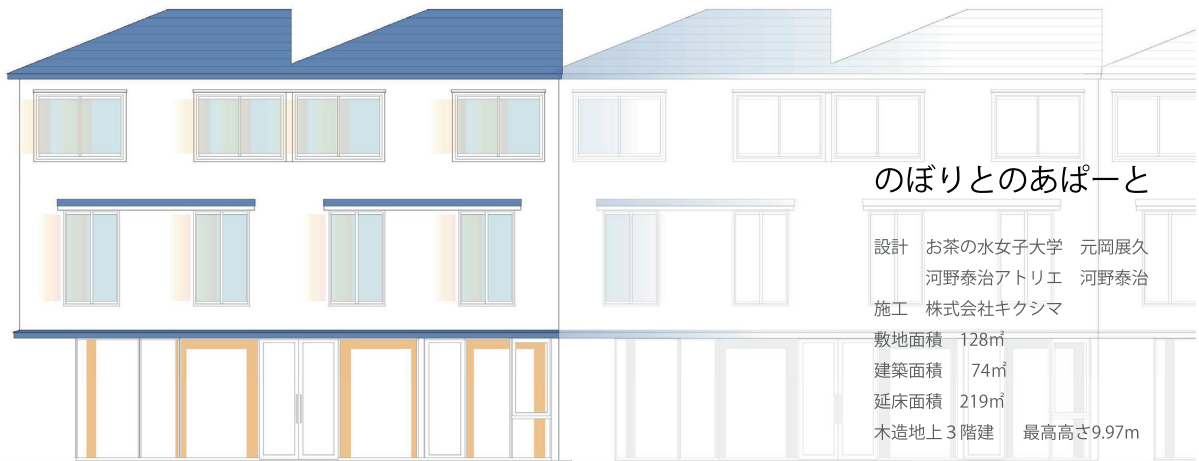
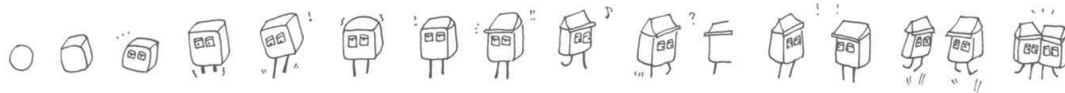
ひとりぐらしと地域をつなげる五つの木のフレーム ～木造3階建防火耐火の都市型集合住宅の提案～

元岡 展久

木造3階建防火耐火のデザイン（一人暮らしのアパート）

安全と共生

デザイン実践



のぼりとのあぱーと

設計 お茶の水女子大学 元岡展久
河野泰治アトリエ 河野泰治

施工 株式会社キクシマ

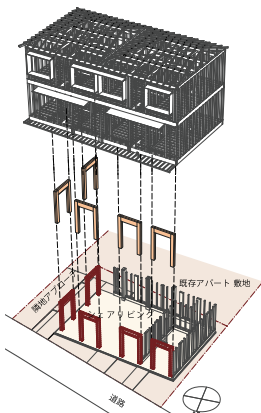
敷地面積 128㎡
建築面積 74㎡
延床面積 219㎡
木造地上3階建 最高高さ9.97m

ひとりぐらしと地域をつなぐデザイン

二階と三階はワンルーム住戸がコンパクトにまとめられています。家形屋根、出窓、庇など、住宅街を形成する住宅の形の要素をデザインにとりこみました。



五つのフレームと、シェアリビング



五つの門型のフレーム（1時間準耐火構造）で住宅を持ち上げたデザインとしました。一階は、各住戸と周辺地域をつなぐシェアリビング（共有のリビング）として計画されています。

木の材料を生かしたデザインの探求

元岡研究室では、紹介事例以外にも、木質材料を生かした建築デザインに取り組んでいます。MDFを用いた耐震壁や杉三層パネルを用いた木造ラーメン構造などを実現させました。また建築のみならず、木造の技術を応用した教育玩具「けんちくおもちゃ」のデザインもおこなっています。

